

申請書への押印は必要か

民部佳代 議員

問 印鑑を忘れて出直すこともあり不便。押印は廃止できないか。

答 約1500種類ある申請書のうち約1100種類で押印が必要。金銭の授受に関するものや法人等に社判を求めるものもあるが、実質的意義

に乏しいものもある。今後見直しを図りたい。

問 金融機関でも押印を廃止し署名に切り替わりつつある。金銭の授受で押印は必要なのか。

答 その点も踏まえ見直します。

問 市内大規模工場などの自主消防組織と市の連携は。

答 直接の関わりはない。

問 大規模災害時に危険物が流出する可能性もある。住民の避難などに備え連携が必要では。

答 今後、連携を図りたい。

子どもが貧困を抜け出す支援を

問 貧困でも親が行政に支援を求めるとは限らない。子どもの貧困をどう把握するのか。

答 プライバシーへの配慮から全ての家庭の状況を把握することは困難。学習支援事業などを通して支援に努めたい。

問 学習支援は子ども自身からは参加しづらい。

気軽に参加できる居場所が必要では。

問 今後の見直しで考えたい。



自転車安全対策の取り組み

川畑京子 議員



自転車走行指導帯

問 自転車の通行スペースの確保、道路空間の有効活用などの取り組みはどのように進んでいるのか。

答 10月1日施行のふじみ野市自転車の安全な利用の促進に関する条例では、自転車の安全な利用の基本的施策として、道路環境の整備を進めるこ

とが明示されている。今後は道路の新設や改良に合わせて、安全な自転車通行環境の整備を進め、道路空間の再配分により、例えば幅の広い歩道や路肩を自転車通行空間として活用するなど検討していきたい。

問 花や緑の景観を活用し、新たな観光スポットなどPR活動にSNSを強化してはどうか。

答 ふじみ野市観光協会では様々な情報発信をしているが、今後は市民の皆様との協働により、市内の様々な魅力ある活動、景観等を発掘する。ホームページだけでなく、ツイッターやフェイスブックなどのSNSの活用により、さらなる情報発信を行い、シティープロモーションの充実に努める。

元気・健康マイレージで健康増進を

伊藤美枝子 議員

問 ウォーキングや対象事業などに参加することでポイントが付与される。健康マイレージ事業の継続で、医療費削減や健康増進のきっかけとなるよう提案してきた。参加状況は。

答 参加者数は1143人。年齢層は10代から80代と幅広く、特に40代以

下が3割強を占めた。これは、スマートフォンを活用するシステムを県下で初めて取り入れた成果である。

問 次年度以降の取り組みは。

答 平成29年度の募集人数は1000人。平成30年度も1000人を募り3000人規模の事業を

亀久保交差点周辺の交通安全対策

床井紀範 議員

問 道路拡幅や歩道整備工事の現状は。

答 用地取得率は、約74%となっている。

問 マミーマート鶴ヶ舞店から県道さいたまふじみ野所沢線への出入口付近に交通誘導員の配置を要請すべきでは。

答 繁忙期については駐車場内で、交通誘導員が2人配置されている。出

入口付近については、店舗に要請していく。

清見第1公園の整備

問 園内通路、路面標示、道路標識、遊具等の再整備をしては。

答 園内通路は経年劣化が見られるので、路面標示を含めて、今年度、舗装のうち替えを行う。遊

具等の更新は、市の公園施設長寿命化計画を策定する中で位置づけていきたい。

防災・減災の視点で施策の展開を

問 北野2丁目の市道第481号線で、以前、有料駐車場であったところに待避所の確保を。

答 開発行為が予定されているので、事業地の一部を買収し、待避所を設置できるように、現在、事業者と交渉を進めている。



北野地域の市道



保健センターでの体組成計

手話言語条例制定に向けて

これまで手話言語法

計画。ポイント対象事業や内容を検討し、モチベーションを一層高める取り組みにしたい。

問 シンポジウムへの参加や鳥取県を視察し、先進的な事例を学び提案してきた。制定に向けて、市民への周知や手話講座・手話教育の推進を。

答 手話講座の開催や市報、ホームページなどで周知を図っていく。条例には、理解促進と手話の普及などを入れたと考えている。

問 小中学校では、障がいのある方と共に学ぶなど福祉教育の充実を図る。

と2市1町で連携して進めている。

問 日本語が苦手な外国人保護者への周知に工夫が必要では。

答 学校や教育委員会で個別に説明するが、今後は外国人向けのガイドブックに掲載するなどしていく。

健康への影響多い受動喫煙対策を

伊藤初美 議員

問 未成年者が多く利用する上福岡駅東西口に喫煙場所が指定されているが分煙対策をもっと強化すべきでは。

答 西口はプランターでの区切りとなっている。

東口の衝立パネルと比較しながら検討し、啓発に努める。

問 公共施設の出入口での灰皿設置は見直しを。

答 調査し検討していく。



上福岡駅東口の指定喫煙場所

社会教育施設の維持管理

問 施設の耐震化への対応はどうするのか。

答 大井中央公民館、上福岡公民館、コミュニティセンター、福岡河岸記念館は耐震化をしていない。修繕や避難訓練で安全確保に努めている。公

高齢者の回復期援助を

奨学金制度の周知に工夫を

共施設適正配置計画の見直しの結果を受けて、計画していく。

問 介護認定外の高齢世帯、一人暮らしの方へ退院後の支援を。

答 退院後、安心して過ごせるために、(仮称)在宅医療相談支援センターの設置を東人間医師会

と2市1町で連携して進めている。

問 日本語が苦手な外国人保護者への周知に工夫が必要では。

答 学校や教育委員会で個別に説明するが、今後は外国人向けのガイドブックに掲載するなどしていく。